海毯江西地区防线計画

2019年 3月





わがまち海西福島区役所

もくじ

1. 基本方針	1
(1)計画の対象地域 (2)活動目標	
2. 海老江西地域の特性と予想される災害	2
(1)地域の特性 (2)防災面からみた海老江西地域 (3)海溝型地震(南海トラフ巨大地震) (4)直下型地震(上町断層での地震) (5)液状化可能性想定図 (6)津波被害・河川氾濫・内水氾濫での被害 (7)福島区の被害想定 (8)海老江西地域の被害想定	
3. 自主防災組織(地域災害対策本部、避難所運営委員会、町会)	7
(1)組織 (2)地域災害対策本部の組織図・役割 (3)避難所運営委員会の組織図・役割 (4)町会の自主防災組織図・役割	
4. 自主防災組織および個人の日頃の取り組みと発災時の行動	10
(1)日頃の取り組み (2)災害時の取り組み	
5. 避難行動要支援者支援計画	13
(1)要援護者名簿を活用した支援の実施 (2)「避難行動要支援者名簿」の作成 (3)「避難行動要支援者名簿」の管理方法 (4)「避難支援プラン(個別計画)」の作成 (5)避難行動要支援者の自助	
6. 災害時ボランティア	15
7. 備蓄について	15
8. 自主防災組織の訓練	18
9. その他	18
防災マップ	19
<資料編>	21

1. 基本方針

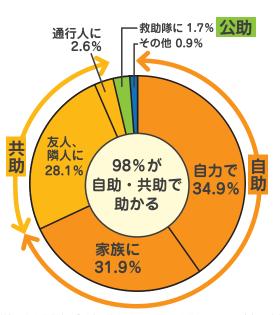
私たち海老江西地域では、自助・共助の理念に基づき、『自分の命は自分で守り』『みんなで助け合い』、地域一体となって、地震など災害による地域の被害拡大を防止する取り組みを継続していきます。

(1)計画の対象地域

この計画の対象地域は、海老江西連合振興町会に属する海老江五丁目、六丁目、七丁目、八丁目とする。

(2)活動目標

地域住民、自主防災組織の各役員による「自助」「共助」を基本とした防災訓練を年1回以上行い防災力の向上に努めます。





災害被害を軽減するには、これらの連携が重要です。

自助:自分(家族)の命を自分(家族)で守ること

共助:地域の皆さんで互いに助け合うこと 公助:国や市の行政機関が対策を行うこと

(社)日本火災学会:「兵庫県南部地震における火災に関する調査報告書」より

阪神・淡路大震災では、生き埋めになり救助された人の98%が自助と共助で助けられました。 一方、公的機関によって生存したまま救出されたのはわずか1.7%という記録が残っています。